

金岡地区より

金岡地区は令和5・6年で、「地域づくり講座」「フォローアップ講座」を通して、男女共同参画の視点から考える防災について学びました。講座を通じてのコメントを金岡中部地区連合自治会長の土屋会長よりいただきました。

<コメント>

この2年間で実施した「地域づくり講座」と「フォローアップ講座」を通じて、防災含めすべての地区活動には女性の視点を取り入れることが重要だと再認識いたしました。

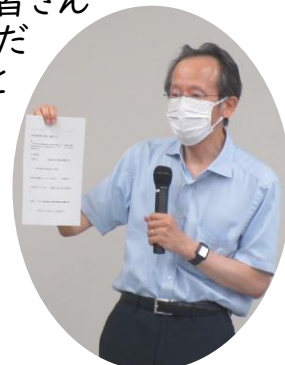
また、既存マニュアルに新しい視点を取り入れる良いきっかけとなりました。今後も多様な視点を取り入れ、更なる防災、その他地区活動の充実に努めていきたいです。



犬塚教授のコメント

金岡地区の避難所運営マニュアルにおいて、各グループが男女共同参画の視点で足りていない部分を多く発表していただいたため、講師としては特にそれ以上付け加える部分はありません。指摘した重要ポイントをまとめると、今までより男女共同参画の意味でのレベルがあがったマニュアルになるはずです。

フォローアップ講座で発言のあった意見等を今後このマニュアルへ反映させていくかどうかは、講座参加者の方や地区の皆さんでよく検討していただきたいです。少なくとも、今のマニュアルをよりよいものにするには、各グループがあげた指摘をかたちにしてもらえればと思います。



令和6年度沼津市男女共同参画情報誌



本市では、地域の皆さんの協力を得ながら、様々な地域活動を通して、男女共同参画意識の浸透や定着化を目的に取り組んでいます。令和5年度から6年度にかけて、金岡地区コミュニティ推進委員会とともに男女共同参画の視点の必要性について認識を深め、男女ともに地域活動に参画できるよう、講義とワークショップを行いました。

今回、この2年間の金岡地区の取り組みの報告として「ハーモニー」を作成しましたので、皆さんにお届けします。今後の地域活動の参考にいただければ幸いです。

令和5年度 男女共同参画地域づくり講座

令和5年度には計4回の講座を開催しました。連合自治会、単位自治会の会長・副会長、防災指導員、女性部部長の方々を中心に、約40人の皆さんにご参加頂きました。

静岡県立大学国際関係学部の犬塚教授を講師にお招きし、“男女共同参画の視点で見直す地域防災活動”をテーマに開催。男女共同参画の基礎から、学んだ内容を活かした避難所設営の図上演習まで、男女共同参画の視点に立った地域防災活動を考えるワークショップを行いました。



令和6年度は！

第四地区東にて「地域づくり講座」を実施！

令和6年度は第四地区東で「男女共同参画の視点からの避難所設営」をテーマに「地域づくり講座」を計4回実施しました。第1・2回は、男女共同参画についての基礎的な知識について、犬塚教授にご講義いただき、防災の穴埋めクイズを行いました。第3・4回は、実際に避難する体育館を想定した、避難所運営の図面演習とグループごとの発表を行い、講評を頂きました。



避難所
チェックシート
で何が必要なの
かを確認！

地域活動に男女共同参画の視点が必要な理由は何か？

高度経済成長期において、性別により役割を決めつける「性別役割分業」の考え方は、効率が良く、その仕組みが上手く機能していました。しかしそれは現在の社会においては、むしろリスクとなり、女性の社会進出等で人々の意識が「男女共同参画」の考えに変化しつつありますが、実態は大きく変わっていないのが現状です。

地域活動においても、世代・性別の大きな偏り（年配の男性ばかりが中心で負担がかなり大きい）が見受けられると思います。それらを解消するためには、女性のトップ・役職への参画、男性中心型の地域慣行や慣例、規約等の徹底的変革を実践する必要があります。

また、近年は気候変動等により、自然災害のリスクが高くなり、毎年のように全国各地で甚大な被害が頻発している状況にあります。男女共同参画の視点を普段から地域活動に取り入れておくことで、そういった災害時においても性別関係なく地区全体で助け合うことができます。

地域活動において、多様な
意見の反映は
必要不可欠！



犬塚教授



発行：沼津市 政策推進部 地域自治課 協働推進係

〒410-8601 沼津市御幸町16-1

TEL：055-934-4807

FAX：055-931-2606

Mail：kyodo@city.numazu.lg.jp

（令和7年3月発行）



男女共同参画についての
沼津市HPはこちらから。

男女共同参画地域づくり講座の振り返り

○第1回（令和5年9月4日）

男女共同参画とは、「そもそも何なのか」「なぜ必要なのか」について、犬塚教授にご講義いただきました。概要説明後には、内閣府作成のガイドラインから抜粋した「防災基礎クイズ」に挑戦しました。

○第2回（令和5年10月2日）

第1回目の振り返りとともに、身近な地域が被災したことによる経験談も交え、男女共同参画の視点を取り入れた防災力の必要性について考えました。グループに分かれ、内閣府作成の「避難所チェックシート」を議論しながら解きました。



男女共同参画の視点からの防災 6つの基本方針

1. 平常時からの(**男女共同参画**)の推進が防災・復興の基礎となる。
2. (**女性**)は防災・復興の「主体的な担い手」である。
3. 災害から受ける影響やニーズの(**男女の違い**)に配慮する。
4. (**男女の人権**)を尊重して安全・安心を確保する。
5. (**女性の視点**)を入れて必要な地域での連携・協働体制を構築する。
6. (**要配慮者**)への対応についても女性のニーズに配慮する。

○第3回（令和5年11月6日）

第3回からは、金岡地区の指定避難所である「金岡小学校体育館」と「沢田小学校体育館」と「金岡中学校体育館」の図面上に、同じ縮尺で印刷した資機材シート（ワンタッチパーテーションや段ボールベッド等）を配置する、避難所設営の図面演習を行いました。

第4回は、第3回で考えた避難所レイアウトについて、グループごと発表を行いました。男女共同参画の視点だけではなく、体育館に付随する設備等の各避難所の特徴も考慮しつつ考えるレイアウト作成について、悩む様子も多く見られましたが、犬塚教授の助言も受けながら、すべてのグループが、工夫点等を他の参加者へ伝え、地区全体で情報を共有しました。



↑性別関係なく意見を出し合い、避難所レイアウトについて考えました。



↑グループごとに考えたレイアウトの工夫点やポイントを発表後に、講評を受けました。

令和6年度 男女共同参画フォローアップ講座

令和5年度に実施した「男女共同参画地域づくり講座」を踏まえ、地域におけるさらなる男女共同参画の意識の定着を図り、継続的に男女共同参画活動の実現をサポートするため、「男女共同参画フォローアップ講座」を実施しました。

引き続き、「地域防災において男女共同参画の意識がなぜ重要なのか」という視点で、“女性と要配慮者等にきめこまやかな対応ができる避難所運営マニュアル”をテーマに、計2回の講座を開催。引き続き講師を務める、犬塚教授よりアドバイスをいただきました。

○第1回（令和6年9月30日）

令和5年度の初回講座にて行った「男女共同参画の概要」と「防災になぜ男女共同参画の視点が必要か」について、再度復習を行いました。今年度初めて参加された方も男女共同参画についての重要性を学ぶことができました。

各避難所に分かれ8つのグループをつくり、クイズ等の解答を話し合いました。講師による実際にあった震災（阪神・淡路大震災や東日本大震災）に関連するクイズや実話を聞いて、防災における男女共同参画の視点の重要性を再確認しました。



↑第1回講座では、昨年度「地域づくり講座」で学んだ男女共同参画についての復習として、資料を確認しながらグループワークを実施しました。

○第2回（令和6年12月9日）

平成30年10月作成の「金岡地区コミュニティー避難所運営マニュアル（金岡中学校・金岡小学校・沢田小学校）」について、男女共同参画の視点を取り入れた内容が含まれているかをグループで検証し、修正する点や加える点について話し合いました。

避難所運営マニュアルを初めて見る参加者も多い中で、どの部分を修正・加筆すれば、もっと良いマニュアルになるか等をグループごと性別関係なく意見を出し合い、最後にグループでまとめた意見を発表し、講師から講評を受けました。

また、グループで発表した意見等を既存マニュアルへ反映できるように、地区全体へ情報共有しました。



既存マニュアルに男女共同参画の視点が入っているかを確認！

